

701 号・完了稿・はやぶさ 2 “あきらめない力”が、人生を面白くする。① 「憧れ」からのスタート 2025年06 月 06 日(金)

中小企業経営者列伝、第 16 弾。4 回シリーズ

挑み続ける美魔女 77 歳

“あきらめない力”が、人生を面白くする。

「赤ん坊と二人きりの団地住まい。知り合いも無く、夫を待つだけの生活」
から

「伝えたい」と思い教壇に立ち、「学びたい」と思い大学に通い、「変えたい」と思い起業した。

25 年で上場企業や病院、スポーツクラブ、カルチャースクール、介護施設を相手に
講師、インストラクター300 人を抱え派遣する企業に成長させた

株式会社ジェイ・コミュニケーション・アカデミー

代表 治面地 順子氏

第 1 回 「憧れ」からのスタート

第 2 回 専業主婦から講師、大学生を経て起業家へ

第 3 回 思った通りにはいかない

第 4 回 「託す」経営の価値

~~~~~

第 1 回 「「憧れ」からのスタート

—スチュワーデスを目指して—

【目次】

■戦後生まれの少女が見た「空の夢

■「夢に近づくための選択」

■スチュワーデス受験秘話

■空を飛んで見えたもの

■世界が教えてくれた「人間力」

■自分の人生を自分でデザインするという視点

第 1 回 「憧れ」からのスタート

■戦後生まれの少女が見た「空の夢

1948 年 7 月 10 日、新潟県柏崎市。敗戦から間もない“団塊の世代”の真ただ中に、治面地順子さんは生まれました。

理化学研究所の営業部長だった父は戦後、日動火災保険の代理店を開業し、地域に根ざした堅実な仕事をしていました。

母はしっかりと家庭を守り、兄と弟に囲まれた 3 人兄弟の長女として育った順子さんは、自然豊かな土地と温かい家庭環境の中で、明るく前向きな性格を身につけていきました。

柏崎といえば、のちに原子力発電所で知られる町ですが、当時はまだ素朴で静かな町でした。

その地で、幼い順子さんの心を大きく揺さぶる出来事がありました。

中学時代に夢中になったのが、映画「若大将シリーズ」。

その作品に登場するスチュワーデスの姿に憧れを抱き、「いつか空を飛びたい」と強く願うようになったのです。

当時の女の子たちの憧れの職業だったスチュワーデス(現 CA)。

中でも日本航空(JAL)の制服に身を包み、世界を飛び回るその姿は、まさに「時代の華」でした。

順子さんは子どもながらに、夢を夢のままで終わらせたくないという思いを抱いていました。

## ■「夢に近づくための選択」

その夢は、決して「ただの憧れ」では終わりませんでした。

順子さんは地元の名門・柏崎高校に進学します。

当時の進学校では女子生徒はごくわずか。クラスに女性は 1 割にも満たなかったといいます。そんな環境のなかでも、彼女は自らの夢にまっすぐ向かい、成績優秀な生徒として勉強に励みました。

高校卒業後の進学、順子さんが選んだのは東京の成城短期大学でした。その理由は明快で

「スチュワーデスになるために、一番近い場所」

当時の成城短大は、語学・マナー・教養・表現力など、航空業界を志望する若い女性たちに必要なスキルを学ぶことで知られていました。

4年制大学にも十分合格できる学力があったにもかかわらず、順子さんは自分の目標に忠実に、着実に準備を進めていきました。

入学後は、成城大学短期大学部の教養科で「JAL に入るためのスキル」を徹底的に磨きました。

語学や所作、一般常識など、採用試験で必要とされる要素を一つひとつ準備していきました。

一步一步自分の力で、自分の意思で未来に向かって進んでいるという確信が、彼女を強く輝かせていました。

## ■スチュワーデス受験秘話

そしてついに、彼女は狭き門を突破し、日本航空(JAL)のスチュワーデスとして採用されます。ここでは地元の日本の憲政史上でも特筆されるべき政治家・田中角栄氏が保証人になってくれたという面白い逸話もありますが、  
実は田中角栄が保証人になってくれた JAL 受験者は多数おり、その中で合格したのが順子さん唯一人と言う事からも  
順子さんが卓越した存在だったことが伺えます。

## ■空を飛んで見えたもの

晴れて日本航空に入社した順子さんは、ついに夢見た空の世界に足を踏み入れました。

スチュワーデスとしての生活は、夢に見た通りの華やかなものでした。  
空港や機内での非日常的な時間、制服に袖を通す誇らしさ、世界中の人々と触れ合う日々。  
しかし、その裏には厳しい研修とサービス品質へのこだわりがありました。

「スチュワーデスは空のホスピタリティ産業の最前線」——  
そう語る順子さんは、笑顔だけでなく、的確な判断力やトラブル対応力を身につけていきます。

異文化への理解や瞬時の気配りは、のちの起業人生にも大きな影響を与える“人間力の基盤”となりました。

「英語が話せればいい、笑顔があればいい——そんな単純な世界ではなかった」

クレーム、体調不良、乗客同士のトラブル。  
CA はただの接客係ではなく、「空の上の外交官」であり、「危機管理のプロ」であることを、順子さんは実地で叩き込まれました。  
失敗もあった。涙も流した。だが、そのひとつひとつが彼女を人間として、そして未来の経営者として、鍛えていきました。

JAL は当時、国際線も国内線も急拡大していた時代。  
新米 CA だった順子さんは、日々のフライトの中で、  
国も文化も違う多種多様な乗客に対応することで、「人を観る力」と「思いやり」の両方を磨いていくことになります。

## ■世界が教えてくれた「人間力」

順子さんは、勤務の合間にさまざまな国の街を歩きました。

ニューヨークで多様性の洗礼を受け、ロンドンで格式と伝統に触れ、アジアの都市で急成長のエネルギーを肌で感じました。

見るもの聞くものすべてが、日本での常識を軽やかに飛び越えてくる世界でした。

「世界は広い。そして、女だからといって遠慮していたら、何も変わらない」

それが、空から順子さんが見つけた“答え”でした。

彼女は、まだ自分が「経営者になる」などとは思っていませんでしたが

今振り返ると、あの時の経験が

——異文化対応、危機管理、チームワーク、判断力、言葉を越えた人間理解——

すべてが、経営というステージに立ったとき、彼女を支えてくれた財産になったのです。

## ■自分の人生を自分でデザインするという視点

順子さんの中で、この「夢を叶えた経験」は大きな財産となりました。

女性が家庭に入るのが当然とされた時代に、自分の意思と努力で社会に出て、夢を実現したという事実。

これは後に「主婦こそが起業に向いている」と語る順子さんの原点でもあります。

当時、スチュワーデスはただの職業ではなく、社会的ステータスも高い「女性の憧れの職業」でした。

そんな中で 2 年間の在職を経て、順子さんは JAL 社内で知り合った上司と結婚し、いわゆる「寿退社」を選びます。

結婚後は専業主婦として、当時パーサーをしていた夫を支えながらも、

次第に「何か社会と繋がりたい」「自分の可能性をもっと広げたい」という思いが湧いてきます。

専門学校の講師、大学入学そして、自宅の一角を使って英語教室を始めるなど、小さな一歩を次々と踏み出していくのです。

この英語教室が、のちの「JCA(治面地コミュニケーションアカデミー)」の原型となり、

数万人規模の生徒を抱える教育・資格ビジネスへとつながっていきます。

「スチュワーデスになりたい」と語ったあの日から、夢に向かって歩いたすべての選択が、今も彼女の根っこを支えている。

そして、次に彼女が見据える夢——それはまた、別の物語の中で明かされていきます。

(第2話へ続く)

編集長 岩下一智 (株) Tiger・HosBiz センター・執行役員  
マーケット・クリエーター(MRC)

いかがでしたか？お楽しみいただけましたか？

次回は  
中小企業経営者列伝、第16弾。4回シリーズ

挑み続ける美魔女 77歳  
“あきらめない力”が、人生を面白くする。

「赤ん坊と二人きりの団地住まい。知り合いも無く、夫を待つだけの生活」  
から  
「伝えたい」と思い教壇に立ち、「学びたい」と思い大学に通い、「変えたい」と思い起業した。  
25年で上場企業や病院、スポーツクラブ、カルチャースクール、介護施設を相手に  
講師、インストラクター300人を抱え派遣する企業に成長させた

株式会社ジェイ・コミュニケーション・アカデミー  
代表 治面地 順子氏

の第2回  
専業主婦から講師、大学生を経て起業家へ

をお送りする予定です  
お楽しみに！

~~~~~

■参考図書■Amazon 電子書籍&オンデマンド版

「理念経営道実戦教本」25年4月25日発売【済】・・・定価：3300円（税別）

B5 版 約 190 頁

委細は HP 等でご案内いたします。HP も 3 月 1 日よりリニューアルいたしました。

<https://rinenkeieidoh.com/>

著者：(株)Tigre・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

~~~~~

本記事に対するご質問やご感想は下記アドレスまでお願いいたします。

[heart\\_gaia\\_gi@hosbiz.net](mailto:heart_gaia_gi@hosbiz.net)

~~~~~

バックナンバーは下記の URL を確認してください。

<https://rinenkeieidoh.com/MailMagazine>

社名：変更のご案内

第 3 の創業として、理念経営道を全身全霊をかけて普及の取組んでまいりますとともに持続可能な推進体制にするため「ティグレ社」とジョイントビジネス（JB）を組んで小規模企業・中小企業が「地域・業界 No.1」となって、持続できるように「創客 伴走型経営支援」をすすめてまいります。HP をリニューアルした暁には、更に詳しくご案内させていただきますのでよろしくお願いします

新社名:: (株)Tigre・HosBiz センター（ティグレ・ホスビズセンター）

~~~~~ 次回予告 ~~~~~

皆様のコメントを励みにして、航海を続けていきますので、重ねてご支援ご鞭撻をよろしくお願いします。

次回、第 702 号は

中小企業経営者列伝、第 16 弾。4 回シリーズ

挑み続ける美魔女 77 歳

“あきらめない力”が、人生を面白くする。

「赤ん坊と二人きりの団地住まい。知り合いも無く、夫を待つだけの生活」から

「伝えたい」と思い教壇に立ち、「学びたい」と思い大学に通い、「変えたい」と思い起業した。25 年で上場企業や病院、スポーツクラブ、カルチャースクール、介護施設を相手に講師、インストラクター 300 人を抱え派遣する企業に成長させた

株式会社ジェイ・コミュニケーション・アカデミー

代表 治面地 順子氏

## の第2回

専業主婦から講師、大学生を経て起業家へ

を、25・06・13(金)にお届けする予定ですので、  
楽しみにしててくださいね。

※なお内容は予告なく変更する場合がありますので、ご承知ください。

■LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、  
私たちは「世のため・人のため」になれない。  
とクルー一同尽力しております。

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。  
では、また次号で元気にお会いしましょう！

◆発信日・・・・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・・・・Captain 平本靖夫

◆編集長・・・・・・岩下一智・(株) Tigre・HosBiz センター・執行役員  
マーケット・クリエーター(MRC)・・・CST 開発推進責任者

プロフィール

<https://rinenkeieidoh.com/Members>

Facebook

<https://www.facebook.com/yasuo.hiramoto>

お問い合わせは <https://rinenkeieidoh.com/Contact> まで

.....

ご愛読ありがとうございます

著者：(株)Tigre・HosBiz センター

Captain 平本靖夫

プロフィールは

[rinenkeieidoh.com/Members](https://rinenkeieidoh.com/Members)

◆はやぶさ・に関するお問い合わせ・質問は

メールアドレス：[kazu\\_zohan@hosbiz.net](mailto:kazu_zohan@hosbiz.net)

発行責任者：Captain 平本靖夫、

編集長：岩下一智 MRC